Pioneer

クラスD　4チャンネルアンプ

GM-D2400

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。
登録は弊社ホームページ「オーナーズリンク」にて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。
https://car-users.pioneer.jp/
なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。
弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。
必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

パイオニア株式会社
〒113-0021
東京都文京区本駒込2-28-8　文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2024
<60-D2400-JP-02>

carrozzeria

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠ 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	❗ 必ず行っていただく強制の内容です。
🚫 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

接続・取り付け

⚠ 警告

禁止

本機は、DC12 V⊖アース車専用です
24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らな
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

強制

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する
ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない
落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない
火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

禁止

分岐配線をしない
ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない
発煙や発火、故障の原因となることがあります。

強制

コードが金属部に触れないように配線する
金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する
雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

⚠ 警告

禁止

運転者は走行中に操作をしない
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない
ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない
発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない
停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の危険性があります。

分解禁止

分解や改造をしない
交通事故や火災、感電の原因となります。

強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。

強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する
ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

指のケガに注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する
ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う

⚠ 警告

強制

事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

電池の極性（⊕、⊖）に注意し、表示通りに入れる
電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

電池の液漏れが発生した場合は
皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

禁止

電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れない
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

乾電池は充電しない
電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

強制

使いきった電池はすぐに交換する
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

おもな仕様

パワーアンプ部

最大出力 (14.4 V)：
100 W × 4 (4 Ω、4 ch)
200 W × 2 (4 Ω [BRIDGE])

定格出力 (14.4 V)：
45 W × 4
(20 Hz～20 kHz、≦1% THD、4 Ω)
45 W × 4
(1 kHz、≦1% THD、2 Ω)
90 W × 2
(1 kHz、≦1% THD、4 Ω [BRIDGE])

負荷インピーダンス：
4 Ω (2 Ω～8 Ω使用可能)

周波数特性：
10 Hz～40 kHz (+0 dB、−3 dB)

S/N比：
93 dB

高調波歪率：
0.05% (4 W、1 kHz)

ローパスフィルター
カットオフ周波数：
80 Hz
スロープ：
−12 dB/oct.

ハイパスフィルター
カットオフ周波数：
80 Hz
スロープ：
−12 dB/oct.

ゲインコントロール
ロー入力：
200 mV～6.5 V
ハイ入力：
0.8 V～16 V

最大入力レベル／インピーダンス
カーステレオのRCA出力と接続時：
6.5 V／22 kΩ
カーステレオのSP出力と接続時：
16 V／22 kΩ

一般

使用電源：
14.4 V DC（10.5 V～16.0 V 使用可能）
アース方式：
マイナスアース方式
消費電流：
15 A（定格出力時、4 Ω）
平均消費電流※：
1.6 A（4 Ω、4 ch）
1.6 A（4 Ω、2 ch [BRIDGE]）
1.6 A（2 Ω、4 ch）
ヒューズ：
15 A
外形寸法（W × H × D）：
181 mm × 38 mm × 64 mm
質量：
0.58 kg（コード含まず）

付属品

取付キット：	1式
コードユニット：	1式
取扱説明書：	1
保証書：	1

メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- ※ 平均消費電流とは、音声信号を入力したときに本機が消費する最大に近い平均電流です。複数のパワーアンプをご使用になるときに、総消費電流の算出にご利用ください。

ハイレゾ品質で音楽を聴くためには、プレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

Hi-Res AUDIO

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

安全のために

⚠ 感電事故を防止するために

- 濡れた手で本機に触らないでください。感電するおそれがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。
- 感電事故を防止するため、濡れやすい場所には本機を取り付けないでください。

⚠ 音量は控えめに

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

⚠ 安全にご使用していただくために

- ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります（本体のヒューズは 15 A です）。
- 機器内部に熱がこもると、温度の上昇を抑制するために音声出力が小さくなる場合があります。
- 本機が過電流状態になったり、高温状態が持続したりすると、保護回路が作動し、自動的にアンプ本体をシャットダウンします（パワーインジケーターも消灯します）。この場合、システムの電源を切ったあと、取り付け状態やスピーカーの配線に問題がないか下記を確認してください。
  - ― スピーカー端子にDC電圧が発生していないか。
  - ― スピーカー出力端子またはスピーカーコードが短絡していないか。
  - ― 仕様範囲外の電圧を加えていないか。
  - ― 製品内部が高温になるような取り付け状態になってないか。
- 正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

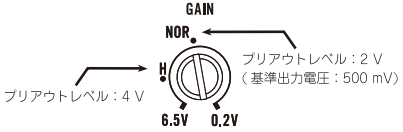
⚠ 接続・取り付けに関するご注意

- 接続／取り付けの作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。
- 本機は必ず平らな場所に取り付けてください。平らでない場所や突起物の上には取り付けないでください。故障の原因となります。
- 本機を取り付ける際は、ネジなどの部品を挟み込まないように注意してください。故障の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類／タンク／電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。

ゲインコントロールの使いかた

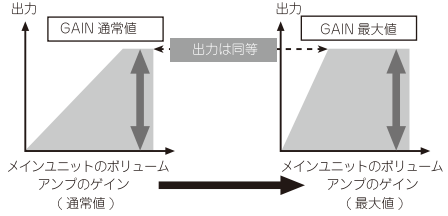
ゲインコントロールの設定

- この製品には、過大出力、誤配線、および誤使用などから本機やスピーカーを保護する機能があります。
- この保護機能により、大音量で音楽を再生しているときなどに、数秒間音声が途切れることがあります。ただし、メインユニットのボリュームを下げたときに、音声が途切れず再生される場合は故障ではありません。
- 音声が途切れて再生される場合は、アンプの「ゲインコントロール」が正しい位置に設定されていない可能性があります。このときは、次の操作を行ってください。
  ・メインユニットの最大プリアウトレベルに合わせた「ゲインコントロール」位置に設定する
  こうすることで、出力を下げずに、出力をコントロールできます。
- 次の場合は、最寄りの修理受付センターにお問い合わせください。
  ・メインユニットのボリュームを下げても音が途切れる
  ・アンプの「ゲインコントロール」を正しい位置に調整しても音声が途切れる



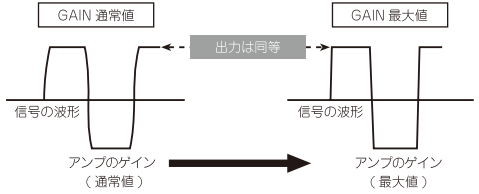
- 左図は、NORMAL に調整した状態です。

アンプのゲインとメインユニットのボリュームの関係



- アンプのゲインコントロールを必要以上に上げても、出力される音声レベルは変わりません。ただし、音声の歪みが増加します。

アンプのゲインでボリュームを大きく出力した場合の信号の波形



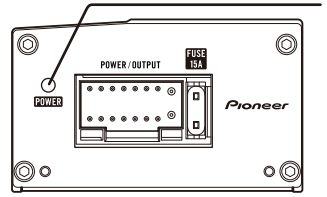
- 過大な出力によって波形に歪みが生じている場合は、アンプのゲインコントロールを上げても、出力される音声レベルは変わりません。

各部のなまえと使いかた

本機には次の設定スイッチがあります。本機に接続するスピーカーの使用目的に合わせて正しく設定してください。

- 設定スイッチを切り換えるときは、必要に応じてマイナスドライバーなどを使用してください。

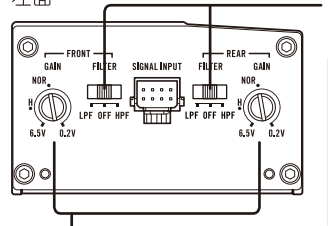
右面



パワーインジケーター

本機に電源が入ると点灯します。

左面



LPF/HPFスイッチ

スピーカー出力に接続するスピーカーおよびカーステレオのシステムによって、次のように切り換えます。

LPF/HPF切り換え	出力される音域	スピーカーの種類	備 考
LPF(左)	重低音域	サブウーファー	サブウーファーを接続します
OFF(中央)	重低音域～高音域	フルレンジ	
HPF(右)	低音域～高音域	フルレンジ	使用しているスピーカーが重低音域を出力できない場合

ゲインコントロール

本機には、スピーカーAおよびB用のゲインコントロールがあります。
ゲインコントロールは、接続したカーステレオの出力レベルに、本機の入力レベルを合わせるためのものです。
本機と組み合わせているカーステレオのボリュームを上げても音量が不足していると感じたときは、ゲインコントロールを右側に回します。また、ボリュームを上げたときに歪みを感じるときには、ゲインコントロールを左側に回してください。

- **プリッジ接続時は、フロント・リア用のゲインコントロールを同じ位置にしてください。**
- パイオニア製のRCA出力付きカーステレオ（基準出力電圧500 mV）と組み合わせたときは、NORMALの位置が目安になります。RCA最大出力が4 V以上のパイオニア製のカーステレオと組み合わせたときはゲインコントロールを左側に回して調節してください。

- LPF/HPF スイッチは、メインユニットのボリュームを下げてから切り換えてください。

接続のしかた

接続上のご注意

- 本機の電源は、必ず付属の電源コードを使用して接続してください。また、アースはアースコード（黒）を使用して車のボディに接続してください。
- システム全体の消費電流が大きくなると、車両側ヒューズ容量をオーバーしヒューズが切れる可能性があります。
  そのような場合は、バッテリーから直接電源をお取りください。
  当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので販売店にご相談ください。
  また、本製品使用時は、カーステレオのスピーカー出力には、スピーカーを接続しないでください。接続する場合は、システム全体の消費電流が大きくなるのでバッテリーからの電源供給が必要になります。
- スピーカーコードを直接アースしたり、複数のスピーカーの ⊖ リード線を共通で接続したりしないでください。
- **本機と組み合わせるスピーカーは、次の規格のものを参考に使用してください。規格以外のスピーカーを使うと、発火・発煙・破損の原因となります。なお、インピーダンスが 2 Ω から 8 Ω（2 チャンネルやモノラル接続などブリッジ接続の場合 4 Ω から 8 Ω）のスピーカーを使用してください。**

スピーカー		耐入力
チャンネル	種類	
4 チャンネル	サブウーファー	定格入力 45 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 100 W 以上
2 チャンネル	サブウーファー	定格入力 90 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 200 W 以上
3 チャンネル フロントスピーカー出力	サブウーファー	定格入力 45 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 100 W 以上
3 チャンネル リアスピーカー出力（プリッジ接続）	サブウーファー	定格入力 90 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 200 W 以上

- カーステレオの電源を ON にしたまま で長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがるおそれがあります。アイドリング中はカーステレオの電源を OFF にしてください。
- 付属の電源コードの青 / 白リード線（システムリモートコントロール）を、エンジンスイッチを ON または ACC の位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続する場合、カーステレオの電源を OFF にしても、本機の電源は OFF になりません。この状態のまま長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがるおそれがあります。

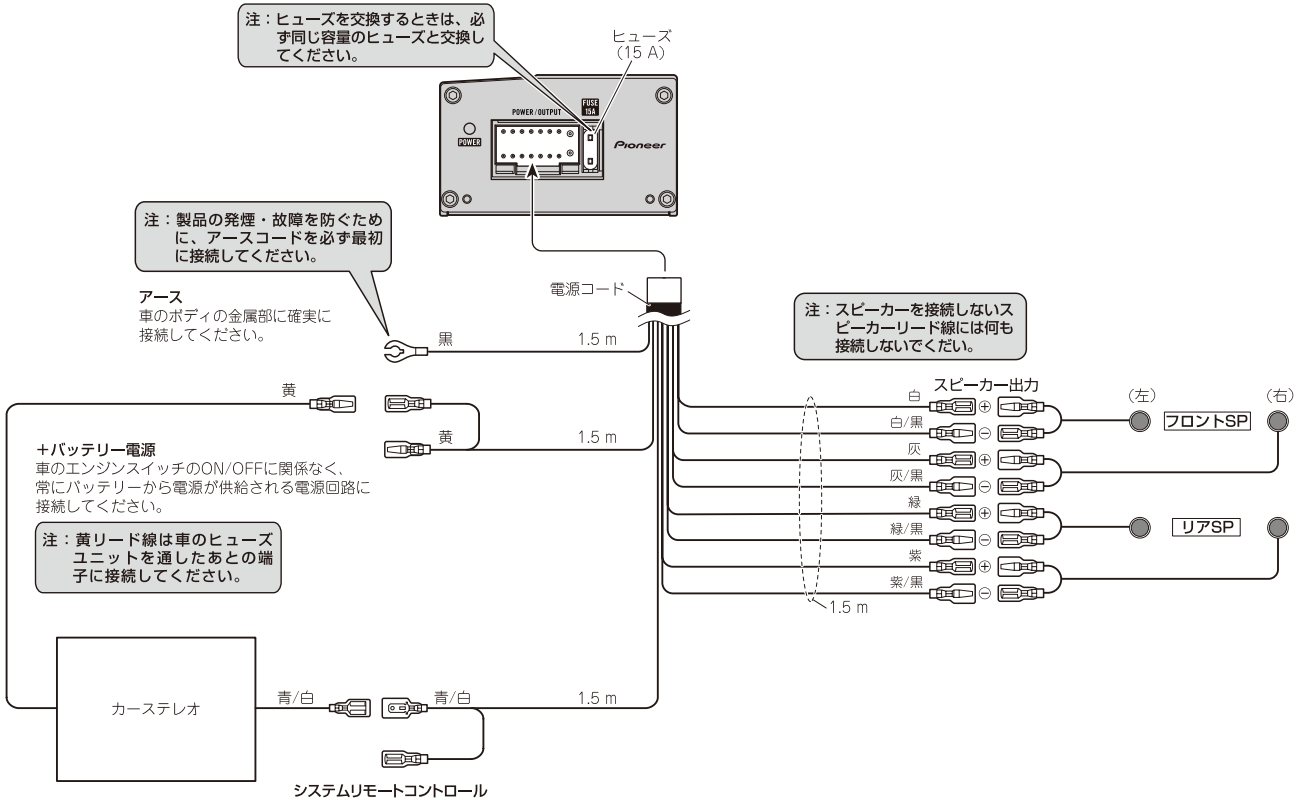
コネクター着脱のポイント

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

メモ

- 確実にアースするため、アースコードは、車両の塗装されていない金属部分に確実に接続してください。塗装されている部分に接続する場合は、あらかじめサンドペーパーなどで塗装をはがしてください。
- 電源コード、アースコード、スピーカーコード、および本機は、アンテナ、アンテナコード、およびカーステレオからできるだけ離して取り付け、配置してください。

電源コードとスピーカーの接続



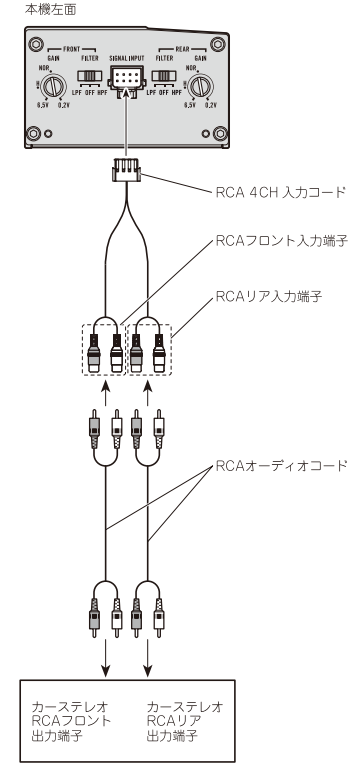
システムリモートコントロール
本機とカーステレオを、SP入力コードで接続した場合、インプットセンサー機能により、カーステレオの電源ON／OFF動作と本機の電源ON／OFF動作は連動します。ただし、カーステレオによっては、この機能が正しく動作しないことがあります。この場合は、システムリモートコントロールコードをカーステレオのシステムリモートコントロールに接続します。接続するカーステレオにシステムリモートコントロールがない場合は、エンジンスイッチをONまたはACC にしたときに電流が供給される電源端子に接続してください。

RCA入力での接続

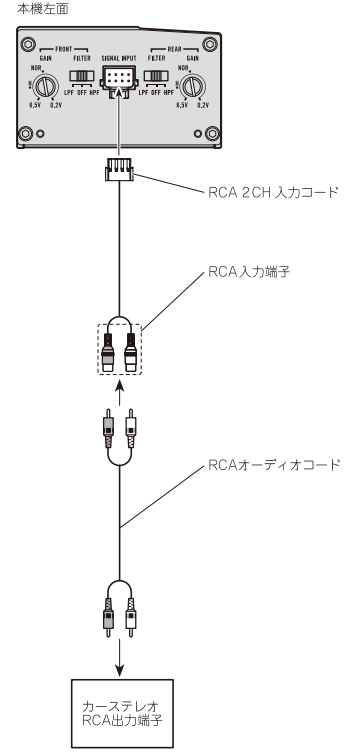
カーステレオの RCA 出力と本機の RCA 入力を接続してください。

- RCA 入力での接続時は、カーステレオのスピーカー出力には、スピーカーを接続しないでください。
  接続する場合は、システム全体の消費電流が大きくなる可能性がありますので、バッテリーから直接電源をお取りください。

4 チャンネル / 3 チャンネル

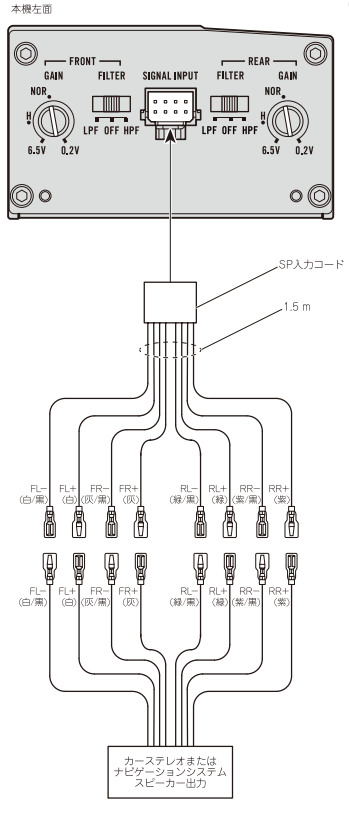


2 チャンネル (ステレオ / モノラル)



スピーカー入力での接続

RCA出力がないカーステレオを接続する場合は、付属のSP入力コードを使用します。



メモ

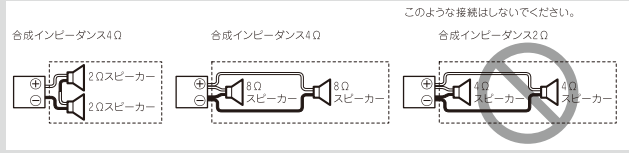
- インプットセンサーについて
  本機とカーステレオを、SP入力コードで接続した場合、カーステレオの電源ON／OFF動作と本機の電源ON／OFF動作は連動します。ただし、カーステレオによっては、この機能が正しく動作しないことがあります。この場合は、フロントLチャンネルが正しく接続されていることを確認してください。それでも改善されない場合は、システムリモートコントロールコードを接続してください。また、複数のアンプを同時に接続する際は、システムリモートコントロールコードを使用してメインユニットとすべてのアンプを接続してください。
- 本機は入力信号を検出して、RCAレベルとスピーカーレベルのいずれかの入力信号モードを自動的に選択します。

スピーカーコードの接続

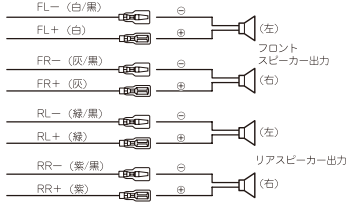
本機は、4チャンネル、3チャンネル、または2チャンネルのスピーカー出力で使用できます。図を参照し、使用目的に合わせて接続してください。

ブリッジ接続時のご注意

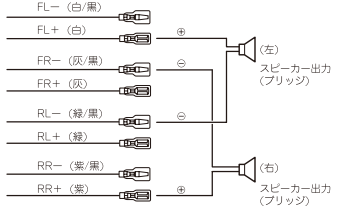
- 複数のスピーカーをブリッジ接続するときは、発火・発煙・破損を防ぐために、合成インピーダンスが4Ωから8Ωになっていることを確認してください。



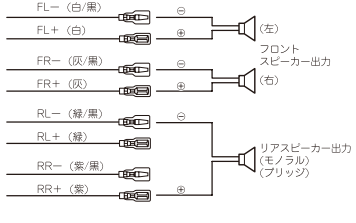
4チャンネル



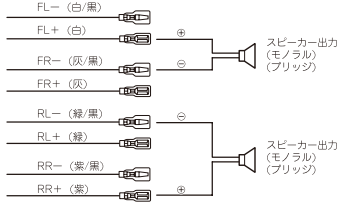
2チャンネル（ステレオ）



3チャンネル



2チャンネル（モノラル）



取り付けのしかた

取り付け・固定の前に

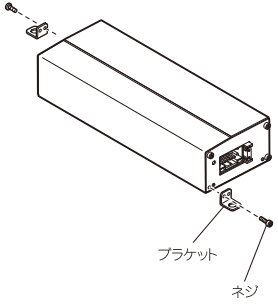
- まず仮接続を行い、本システムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は、接続・設定に誤りがないか、ヒューズが切れていないか、もう一度チェックしてください。
- 取り付けた状態でスペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取り出せることを確認してください。

ご注意

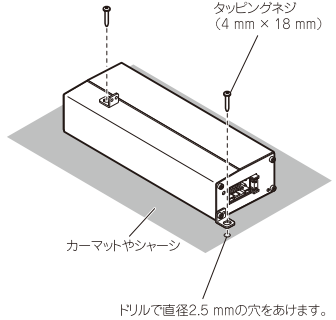
- コードの断線やショートの恐れがあるため、コード類が足に当たるような場所に取り付けないでください。
- 水滴のかかる恐れのある場所には取り付けないでください。

1 本機の側面下側のネジを、対角線上に左1本、右1本取り外します。

2 外したネジを使用して、ブラケットを取り付けます。



3 本機を取り付けます。



動作を確認する

接続･取付が終わったら､次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続･取付をもう一度確認します。
接続・取付に誤りがないか、各コネクターが確実に接続されているか、もう一度目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかけます。

3 本機の動作を確認します。
本機およびシステムが正常に動作することを確認してください。(各スイッチの設定については、「各部のなまえと使いかた」の項を参照してください。)
動作しない場合は、接続に誤りがないかもう一度チェックしてください。

故障かな？と思ったら

ちょっとした接続・設定のミスなどで故障と間違えることがあります。故障かな？と思ったときは、次のことを行ってください。

1 接続・設定にミスがないかを、もう一度確認してください。

2 接続・設定にミスがなかった場合は、「保証書とアフターサービス」をご覧になり、修理を依頼してください。
分解はしないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より１年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。
(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、本書の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。
なお、生産終了により、補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、および脱着作業は承っておりません（保証期間内含む)。
販売店、または取付店にご相談ください。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

<各窓口へお問い合せ時のご注意>
「0120」で始まる電話番号は､携帯電話・一部のIP電話などからは､ご使用になれません。
携帯電話からはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので､発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします
パイオニア商品の取付･組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご活用ください。

■お客様サポートサイト
https://jpn.pioneer/ja/support/

■商品についてよくあるお問い合わせ(FAQ)
https://faq2.jpn.pioneer/

■電話 《カーオディオ、カーナビゲーション商品》 ※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください
【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)
【携帯電話から】 **050-3097-9332** (IP電話・有料)
■ファックス **0120-105-680** (無料)

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします
修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「**故障かな?と思ったら**」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理受付窓口

■修理受付サイト
受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください
https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81028** (無料)
【携帯電話から】 **050-3097-9104** (IP電話・有料)
■ファックス **0120-5-81029** (無料)

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

■部品受注サイト
受付時間、FAXでのご注文はホームページをご確認ください
https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/parts/

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81095** (無料)
【携帯電話から】 **050-3097-9330** (IP電話・有料)
■ファックス **0120-5-81096** (無料)

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。